

# 精神科

精神科：1年時必修研修および2回目の選択研修

指導医：精神科医長、指導医の資格のある医員

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医員、および臨床経験7年以下の精神科医

指導者：精神科病棟の看護師長、精神科外来看護師

## ●一般目標（GIO）

精神疾患の診断、治療、社会復帰、予防等の方法を習得し、また身体疾患を有する患者の精神的な問題を理解して全人的な対応ができる医師を養成することを目標とする。

## ●行動目標（SBOs）

- ・ 患者およびその家族との信頼関係を確立することが出来る。
- ・ 他職種を含めたチーム医療を理解し、その中で指導医、上級医と共に医師としての役割を果たすことが出来る。
- ・ 問診、身体診察を含む非観血的診断スキルを身につけ、総合的診断能力を養う。
- ・ 精神疾患の初期診断、および治療に必要な知識・技術を習得する。
- ・ 精神科独自の診察法、検査手技、臨床検査の実施及び評価、薬物療法を理解し習得する。
- ・ 精神保健福祉法について理解する。
- ・ 精神科救急医療にて求められる迅速な判断・対応を身につける。
- ・ リエゾン精神医学を学び、総合病院精神科の役割を理解する。
- ・ EBMに基づく精神科医療を行うための情報収集、技術講習を通じ、積極的に自己啓発に努めることが出来る。
- ・ 地域中核病院にて診療に従事する重要性を理解、自覚し、地域チーム医療としての病院連携を図ることが出来る。

## ●方略

### <病棟業務>

- ・ 精神科病棟（東3病棟）を中心に、常時数名程度の精神科患者を指導医、上級医と共に担当する。
- ・ 担当患者の問診および身体所見をとり、指導医、上級医とともに検査計画、治療計画を立てる。
- ・ 担当患者の脳波、頭部CT、頭部MRI、核医学検査、心理検査といった各種検査にできるだけ付き添い、検査を見学および状況に応じて指導医のもとで実践する。
- ・ 修正型電気けいれん療法を見学し、指導医、上級医の指示のもと、手技の補助を行う。
- ・ 指導医、上級医とともに必要な生活指導を入院患者およびその保護者に行い、診療内容・説明内容をカルテに記載する。

- ・ 担当患者に関わる書類(他院への診療情報提供書、入院証明書など)の作製を経験する。

#### <外来業務>

- ・ 精神科外来にて、精神科の代表的な疾患(統合失調症、うつ病、認知症など)を指導医、上級医とともに経験する。
- ・ 精神科リエゾンチーム、認知症ケアチーム、緩和ケアチームの活動に参加し、その役割を理解する。

#### <救急業務>

- ・ 担当患者の急変に対しては、指導医、上級医とともに直ちに対応する。但し時間外の急変については、業務過多にならないよう指導医、上級医とあらかじめ相談しておく。
- ・ 平日日勤帯の救急患者で精神科の介入を要請された場合、救急外来もしくは精神科外来で指導医、上級医と共に対応する。

#### <コンサルテーション>

- ・ 他の診療科からのコンサルテーションに対して、指導医、上級医とともに対応する。
- ・ 担当患者が他科受診する際には、指導医、上級医の指導のもとで院内紹介状を記載する。

#### <カンファレンス>

- ・ 月末の症例カンファレンスでは担当患者のレポートを作成し、発表する。
- ・ 病棟の退院支援カンファレンスに参加する。

#### <研究会、学会、学術活動>

- ・ 研究会、学会に指導医とともに参加し必要に応じて発表する。

#### <週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
午前	病棟研修 外来研修	病棟研修 外来研修	病棟研修 外来研修	病棟研修 外来研修	病棟研修 外来研修
午後	病棟研修 外来研修 緩和ケアラ ウンド	病棟研修 外来研修 認知症ケアラ ウンド	病棟研修 外来研修 精神科リエ ゾンラウン ド	病棟研修 外来研修	病棟研修 外来研修

#### ●評価

- ・ 病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・ 評価者は、指導医、指導者(精神科病棟師長)が行う。
- ・ 研修医からの評価も必ず施行する。